



イギリス満喫(1)

今日からまたまたスタートである。9月中には考査と星陵祭が、そして、それが終わるといよいよ大切な進路選択が待っている。なんだかんだ言っても一つの結論を出さなければならないし、出した以上はそれに責任を持たなければならない。久しぶりにみんなと顔を会わせて浮き浮きしているところだとは思いますが、浮き浮きしながらもそのことの意味をよ〜くかみしめて、年末までの4ヶ月のスタートをしっかりと切ってほしいものである。

*

私は勝山の引率と夏期講習を終えた8月の中旬から、主人と9日間のイギリス旅行に出かけてきた。イギリスは北海道よりも緯度が高く、長袖の上にフリースを着てちょうどいくらい(朝はさらにダウンを重ねることも…)であるが、それ故避暑を兼ねた旅行先としてはうってつけである。今回は、大学の街オックスフォード(=都会?)と、古いイングランドの面影を残すコッツウォルズ地方(=田舎?)を訪ねるのが主目的。

まずは羽田からロンドン・ヒースロー空港まで約12時間、現地時間で午後4時過ぎに到着して、そこからバスでオックスフォードに向かう(約1時間半)。現地についたのがすでに7時近くだったので、とりあえず宿泊予定のクライスト・チャーチというカレッジの寮に向かう。バスセンターから徒歩で10分くらい。安いホテルをネットで探していたら、夏休みで学生がいなくなったカレッジの寮に安価で泊まれることが分かり、映画ハリイ・ポッターにも使われたという、このカレッジの寮を選んでみたのである。

ネットで「クライストチャーチ/グレートホール/朝食」と検索してみると、私たちと同じような体験をした方々のレポートがいっぱい出てくるので、興味のある人は検索してみてほしいのだが、「ハリイ・ポッター」の食事場面の撮影にも使われたグレート・ホールという由緒正しき?場所で、ダンブルドア校長が座っていたような一段高くなった机に陣取って、ホールを見渡しながらする朝食は、ちょっとワクワクする体験だった。

ちなみに、朝食メニューはいわゆるイングリッシュ・ブレックファストと呼ばれるもので、卵(ポーチド、スクランブル、目玉焼きの中から好きなモノを)、ベーコン、ソーセージ、ハッシュブラウン(いわゆるハッシュドポテト)、豆、焼きトマト、マッシュルームの中から好きなモノを選んで皿に盛り付けてもらう。炒めたマッシュルームはとても美味しく、二度目の朝食の際、盛り付けてくれる人に「ダブル」といって笑われた。

会場には20名くらい慶応大学の学生さんもいて、朝の散歩の際に出会った学生さんに話を聞いてみたら、約1ヶ月のサマースクールで、寮に宿泊しながら英語と国際関係論を勉強しているとのこと。素晴らしい環境で、素晴らしい仲間とともに学べるのは幸せなことだろう。費用についても聞きたかったが、遠慮した(笑)。

街は歩いて回ることでできる大きさで、他の有名カレッジや観光ポイント、書店や喫茶店などに立ち寄りながら、学問の香り漂う石造りの街並みをのんびり歩いて楽しんだ。